

## 1 研究会協議のテーマ（目的）

小中一貫がゴール（目的）ではなく、その先にある生徒の自主性や効果的な教育方法などの成果物獲得への促進のサポート。また、教育を受ける義務があるすべての児童・生徒への学校内外での必要な環境の確保への促進

## 2 協議の要点（全7課題）

## 1) 不登校・登校渋り・学校に居づらさを感じる子どもに関すること

優先順位：高

A. すべての子どもが学ぶことから取り残されることがない体制

B. 校内に教室以外の居場所がある

優先順位：中

C. 校外の居場所を選択しても出席扱いになる

D. 学習や進路が保障される

## 2) 小規模校に関すること

優先順位：高

E. 小中交流を増やす

優先順位：中

F. 適切な学級数の設定

## 3) 施設・設備に関すること

優先順位：中

G. 水泳授業の充実

優先順位：高

H. 体育館、トイレ、校舎の環境改善（災害時や地域交流のためにも）

## 4) 地域との関わりに関すること

優先順位：中

I. 地域活動やPTA活動に積極的にかかわる保護者を増やす

## 5) 小中一貫教育に関すること

優先順位：高

J. 自主性に効果的で興味のある授業

K. 学校、個人のユニーク性の助長

L. 教員の負担削減にもなる探求的学習、ICT活用の推進

M. コミュニティスクールの有効活用

## 6) 登下校に関すること

優先順位：中

N. 安全で児童生徒に負担のない通学路や通学手段

## 7) その他として学校生活の規制・ルールの見直し、ICTの効果的な利用方法、インクルーシブ（個人への配慮）教育、学校外の遊び場の規制の見直しや提供

優先順位：高

O. #5の提案+保護者の声を聴きいれるための対話作り（コミュニケーション不足の解消）

優先順位：中

P. 学校周辺の安全に遊べる公園やルールの見直しのための町との確認、交渉

3 提言に盛り込みたいこと

上記すべての課題で優先順位高のものから対応を希望。また、状況の確認ができる報告とそれぞれの理由を明確にしてほしい。(例：対応遅れる理由、不可能な理由等は必ず明記し、代替え案あればその内容と状況)

4 参照先

詳細（研究会で検討し収集したデータ）

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/cmsfiles/contents/0000000/937/r5-3shiryu1.pdf>

二宮町のホームページ内の「資料1 喫緊の課題と解決のための取り組み」より

[二宮町施設一体型小中一貫教育校設置研究会 | 二宮町 \(town.ninomiya.kanagawa.jp\)](https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/)

担当者氏名（二宮小学校 PTA 会長 池田直幸）